食農教育

平成十八年度農業体験学習「春」

北郷小・緑ケ丘小編

五月十日から十二日までの三日間、角田市内において東京都目黒区立緑ケ丘小学校（田中みさ子校長）の五年生四十名と、角田市立北郷小学校（渡辺美代子校長）の五年生二十七名による農業体験学習（春）が開催されました。

緑ケ丘小学校が角田で農業体験学習をするようになってから、今年で七年目を迎え毎年田植えと稲刈りを中心とした交流が行われています。

田植えを行ったのは北郷小学校の南、三〇アールの田んぼ。角田地区農協青年部のみなさんから手ほどきを受けながら、両校の子供たちが協力しあって、線引き、苗運びを行いました。

今回植えた品種はひとめぼれ。当日は曇り空でしたが、子供たちは元気いっぱいで、水の冷たさと泥の感触に歓声をあげながら、苗をひと株ずついねいに植えていました。

田植え作業後は、北郷公民館とボランティアグループ「たんぽぽ」のみなさんから振る舞われたとん汁とおにぎりに舌鼓。北郷小五年生と楽しく交流ゲームを行いました。

緑ケ丘小学校の子供たちは、十月の稲刈りが楽しみだと秋の収穫に期待を寄せていました。

西根小・月光原小編

また同じく五月十二日から十四日の三日間、東京都目黒区立月光原小学校（島田昇校長）の五年生三十三名と、角田市立西根小学校（蓬田義廣校長）の五年生三十一名による農業体験学習（春）が開催されました。

月光原小学校と西根小学校が交流するようになり今年で三年になりました。当日は両校の五年生を中心に、西根小学校では一年生から六年生の全校児童が田植えに参加しました。

子供たちは、西根地区子ども会育成会の皆さんの指導を受けながら、高倉新山地内の水田十三アールの圃場にみやこがねもちの苗を膝まで泥だらけになりながらていねいに植えていました。

十月にはまた西根小学校を訪れ一緒に稲刈りを体験しますが、春の体験で滞在中ホームステイもあったことから友情も芽生え、十月が待ち遠しいようでした。

尚、四校による田植え後の稲の生育状況を、ウエブマガジンあぶくま農学校のホームページにて毎週更新・お知らせしていますので、ご覧になってください。